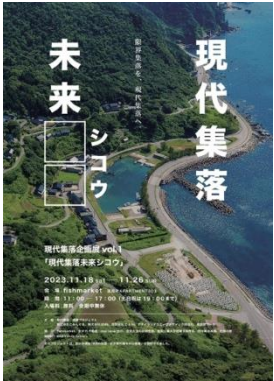


現代集落 建築プロジェクト

事業概要	「現代集落」では、能登半島珠洲市真浦において、100年後も持続する豊かな暮らしづくりを目指し、限界集落を現代集落として創造的に再生する実践的活動を行ってきた。この団体主催者が新たに取得した集落内の空き家を改修し、滞在施設・チャレンジショップづくりに取り組む計画である。過疎地に於ける移住政策と空き家対策を掛け合わせたモデル事業として、横展開を目指すものである。		
事業者情報			
団体名	現代集落 建築プロジェクト		
所在地	石川県金沢市新堅町3-61RENNbldg.		
設立時期	2023年4月		
団体HP	https://villagedx.com		
活動地域	石川県 珠洲市、金沢市		
事業スキーム	凡例 ...実施事業者 ...自治体 ...その他連携先 真浦町自治会 集落住民 ↕ 集落全体計画について地域合意形成 建築プロジェクトに関する理解・共有 現代集落 建築プロジェクト 株式会社ENN 株式会社こみんぐる アオイランドスケープデザイン合同会社 合同会社CとH 金沢大学融合研究域 ↕ 創造的復興計画 珠洲市・石川県		
取組内容及び成果			
① 残留物撤去： 残留家財、非破壊による調査を行い、建物構造、設備等の状況を把握。			
② 木造たてもの調査： 1. 空き家の建物状況調査を実施、事業活用、設計の為の基礎調査。 2. 震災後に現地視察を実施。			
③ 改修基本設計・事業計画： 基本設計、事業計画を実施。地域固有性の高い宿泊施設、温浴施設、お試し商店として事業企画と基本設計を行う。 地震後の計画変更については検討中。			
④ 展覧会・トークイベント： 以下の各イベントにおいて「現代集落」事業を訴求し、意見をリサーチした。 1. 金沢市役所で開催された「金沢SDGsフェスタ」に出展参加し「現代集落」の取り組みを訴求。 2. 金沢市内のアートスペースにて「現代集落」の取り組みを模型やパネルによる展覧会を開催。会期中にゲストを招いたトークイベント開催。 3. 京都市内で開催されたカンファレンスイベント「都市と循環」に出展参加。 4. 東京にて能登における震災報告と復興「現代集落」の今後を考えるトークイベント開催。			
⑤ クラウドファンディング： 「現代集落 建築プロジェクト」への支援と周知を兼ねたクラウドファンディングを実施。			



現代集落 建築プロジェクト

① 残留物撤去

本建物には、旧所有者の残留物が大量に残されており、それら残留物の取捨選択・撤去処分を実施。

残留物撤去

本建物には、旧所有者の家具、生活雑貨、衣料品等の残留物が大量に残されており、これらの取捨選択により地域の伝統的暮らしが窺える家具、道具類については再利用を検討し、それ以外については、移設撤去処分を実施した。



② 木造たてものの調査

令和3年度空き家対策モデル事業で採択された「木造たてものの調査」を実施し、既存建物の状況調査を行う。また、本調査は、事業計画、改修リノベーション計画へむけた基礎調査となる。

木造たてものの調査

残留物撤去後、建物の採寸、非破壊の状況調査を行う。既存建物は、主屋(木造2階)、納屋(木造2階)、倉庫(木造2階)ともに、木造躯体には特筆すべき欠陥、等は見られなかった。設備に関しては、稼働検査を行えなかったが、リノベーション時には更新が必要と思われる。



震災後被災調査

震災後1月22日に真浦集落を視察。隣接する輪島市町野や曾々木では、甚大な被害が建物、土木構造物、地形においても確認されたが、当該物件が存在する真浦集落では、一部破損が確認できる建物や構造物はあるものの大きな被害は目視されなかった。当該建物においても、一部土壁のクラックは認められるが、構造的に大きな損害は発生していないと思われる。しかし改めて再調査が必要であると考え。



現代集落 建築プロジェクト

③ 事業計画・改修基本設計

「現代集落」では、これまで描いてきた30年後の「現代集落」の未来ビジョンに基づき、持続可能な地域づくりの一環として建築プロジェクトを計画してきた。震災を受けて、30年を10年へと時間圧縮した計画を目指していきたい。

計画概要と進捗状況

眼下に日本海を見下ろす傾斜地に建つ主屋（木造2階）、倉庫（木造2階）、物置（木造2階）を、それぞれ宿泊施設、温浴施設、お試し商店としてリノベーションを計画。

建物外観はそれぞれ奥能登地域の伝統的民家の意匠を継承した杉板下見板張り、黒瓦として、地域の文化的景観に寄与するものとする。

基本設計終了後、解体工事、改修工事の見積依頼を検討したが、珠州市においては令和5年5月発災の珠洲地震以降、建築業者不足が続いており、輪島市や金沢市の建築業者を選定中で予定より実施時期が送れていた中で令和6年1月の能登半島地震を迎えることとなった。

※以下は、令和5年末時点での計画内容である。

宿泊施設

地域の伝統的民家の形式に倣いつつ、現代性を導入した二組宿泊可能な簡易宿泊所として計画。屋外には地域の土壌や植生を研究し、ランドスケープやハーブガーデンなどを計画。また土間空間には奥能登国際芸術祭でも出展している現代アーティストによる作品を展示。

また、本施設は集落の集会施設、祭礼施設としての利用も可能とする。

温浴施設

木造倉庫は、1階を脱衣室、2階をサウナ付き風呂として計画。浴室からは日本海が見渡せる構成となっている。本施設は、温浴施設（銭湯）として、近隣住民も利用可能な施設として開放する。

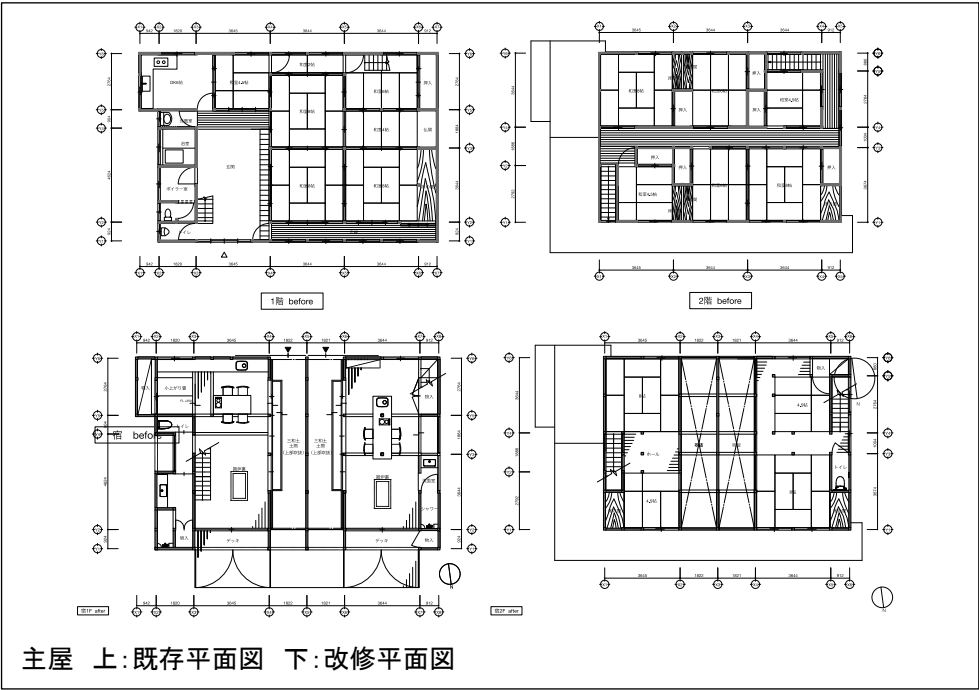
お試し商店

木造物置は、厨房設備付きのチャレンジショップとしてスペースレンタルを行い、地域商店の創業支援施設として計画。

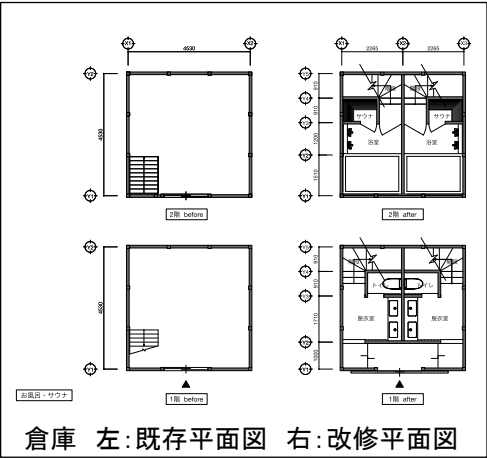
震災後の計画

能登半島地震により、以上の計画は概ね5年程度の短期的計画としては用途を含めた変更を検討せざるを得ない。しかし、中長期的には上記計画への移行を前提として検討する。

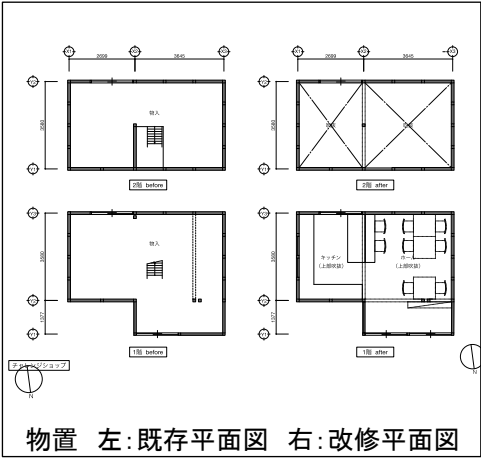
また、集落全体を対象とした復興計画の策定を検討し、集落自治会との連携や合意形成を計り、石川県が掲げる創造的復興の先端事例としての「現代集落」を目指す。そのことにより震災復興事例や限界集落・過疎集落のモデルとして横展開を目指していきたい。



主屋 上：既存平面図 下：改修平面図



倉庫 左：既存平面図 右：改修平面図



物置 左：既存平面図 右：改修平面図

現代集落 建築プロジェクト

④ 展覧会・トークイベント

「現代集落」ならびに「現代集落 建築プロジェクト」について、その意義を公開で語り、意見交換を重ね、空き家対策としての事業を訴求する展覧会、トークイベントを開催。さらに能登半島地震発災による緊急イベントも開催した。

「KANAZAWA SDGsフェスタ」企業展示参加 10月7日 金沢市役所第一本庁舎

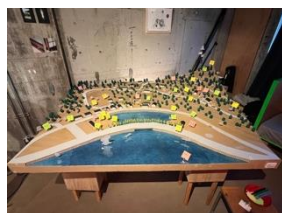
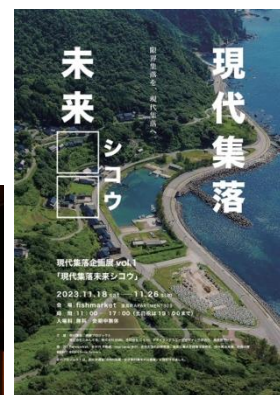
金沢市などが主催するSDGsを実践する事業者などが集うイベントに展示ブース参加。一般市民に「現代集落」の取り組みや事業を周知する機会となった。



「現代集落未来シコウ」展開催 11月18日～26日 金沢市内アールスペース

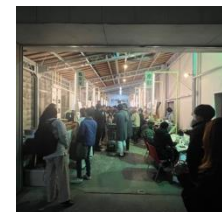
「現代集落」ビジョン、取り組み内容、集落全体模型と合わせて「現代集落 建築プロジェクト」の基本設計図などを展示。全国で持続型集落再生に取り組む事業者などとの連携についても意見が交わされた。北陸朝日放送で放送、北國新聞などで記事掲載。

展覧会期間中の11月23日には、まちづくり・都市計画の大学研究者、造園・ランドスケープの先進的実践者を招きトークイベントを開催。学生・計画者・行政職員なども交えた有意義な意見・アドバイスを得た。



「都市と循環」展示会出店 12月7日～8日 京都丹波口

全国で開催される不動産ウェブサイト「R不動産・real local」グループ主催による、都市と循環を考えるカンファレンス&フェスティバルイベントの展示見本市に出店。全国からの循環型都市・経済を目指し実践する事業者との交流・意見交換の機会を得た。同カンファレンス&フェスティバルは今年も開催を予定しており参加する予定。



「現代集落オフサイトセッション」緊急開催 1月29日 東京POTLUCK八重洲

元旦の地震被災を受けて「現代集落」の震災復興に関する現状報告、限界集落を含む能登半島復興へ向けた提案を行うトークイベントを緊急開催。オンライン配信も実施し会場参加と合わせて約160名が参加。産経新聞等で掲載された。なお、本セッションは、クラウドファンディング支援者への事業変更の報告を兼ねたものとなっている。



⑤ クラウドファンディング

「現代集落 建築プロジェクト」について、支援と周知を目的にクラウドファンディングを実施。約180名から約300万円の支援を得た。震災後には、今後の事業活動の変更も含めた報告を行っている。